

# JEEFの トピック

TOPIC

夏・秋

JEEFの活動の最新注目トピックをご紹介します!今季も皆さまからのご寄付や企業との協働により、全国各地に、「体験と対話を重視した環境教育」を届けることができました。

## ！ 大阪万博発、 インドネシアと日本の環境リーダーの想い

JEEFでは、SOMPPO環境財団の運営する「CSOラーニング制度」にて、国内のインターシップ受け入れ団体となるだけでなく、インドネシアにおいてもプログラムの企画・運営を担当しています。

9月19日、大阪・関西万博インドネシアパビリオンにて開かれた「木を植える人を育てる…インドネシア×日本環境インターシップの挑戦」では、環境人材育成をテーマにインドネシアと日本のCSOラーニング制度の修了生が登場しました。パネルディ



当日の様子はこちらから(動画)



スカッションでは同制度の修了生でもある事務局長・加藤がモデレーターを務め、ユース世代が環境問題にどう向き合い、未来を切り拓くか、活発な議論が交わされました。

JEEFはこれからも、インドネシアと日本の架け橋となり、環境人材育成の輪を広げる一助となるよう取り組んでまいります。

## ！ 対馬で海洋プラスチック ク視察ツアーを実施

JEEFでは、ジョンソン株式会社からの寄付金を活用し、「海洋プラスチック環境教育プログラム」を2021年より展開しています。その一環として、

ジョンソン株式会社の社員向けに、日本で最も多く海洋ごみが漂着するといわれる場所・長崎県対馬での2泊3日のツアーを

実施しました。

川口幹子氏(株式会社ブルーオーシャン対馬)、前田剛氏(対馬市役所)の案内のもと、フィールド視察と現地の方との交流を通して、海洋プラスチック問題の現状を学びました。ごみが堆積する海岸の視察やクリーンアップ、漂着ごみの分別・処理を行う施設の見学、山と海の環境保全の取り組みの視察を行いました。

今回の見学で目の当たりにした現状を含め、これからも海洋プラスチック問題について伝えるプログラムを実施し、多くの方の心を動かし、行動の変化につながれるような環境教育を提供できるよう努めます。



JEEFのHPにて、ツアーの様子を詳しくレポートしています!ぜひご覧ください。



誰もが海水浴を楽しめる未来へ！



参加者もサポーターも一緒になって遊びます！

鹿児島県・重富海岸の「ユニバーサルビーチプロジェクト」は、障がいの有無に関わらず、誰もが安心して海を楽しめることを目的に、くすの木自然館を中心に実施しています。今回、JEEFも参画し、2日間のイベントを開催しました。

今回の参加者は、義足の方、車椅子の小中学生、視覚障がいの方、脳出血による麻痺のある方など5組。海で遊んだことがない・浜辺にも行ったことがない方や、後天的な理由から以前のように海には行けないと諦めてしまった方もいました。ドキドキし

ながら海に入ると、水の冷たさに声をあげたり、波にゆられて体を動かしたり、全身で海を感じていました。「楽しかった、来年も来たい」と嬉しさをかみしめながら涙を流す様子もありました。

そんな時間の裏には、地道な準備がかかせません。車椅子での移動のための砂浜整備や、一人ひとりに合わせた水陸両用の車椅子などの道具、着替え場所の用意。サポーターの募集も必要です。それでも、「海で遊ぶ」という選択肢を諦めさせないために、JEEFはこれからもこのプロジェクトに参画していきます。



大人のプチ遠足  
「花とジビエとサステナビリティー」

首都圏で働く大人のウェルビーイングをテーマにイベントを開催しました。日々のストレス社会から少し離れて、自然の中で心と体をゆるめる1日を通して“人と自然の関わり”を考えました。

参加者からは「楽しく無理のない範囲で自分にできることを少しずつでも考え、取り組んでいきたい。」「環境のこととなると堅苦しさを覚えていたが、もっと軽い気持ちで身近なことから始めてもいいとわかった。」との感想をいただきました。



緑に囲まれ、お花に触れてリラックス

